



Yusu-hara Town above cloud

雲の上の町 **ゆすはら**

第**132**号

令和7年 7月20日

# 四万十源流

[町議会だより] Town Council Newsletter

5月  
臨時会  
(第379回)

議案審査の概要

提案され審議した主な議案についての概要

(※質疑は抜粋)

議会5月臨時会は、5月1日に一日限りの会期で開催した。今後2年間の議会運営を託す組織議会でもあり、正副議長については議会申し合せにより正副議長から辞職願が提出、選挙が行われ、議長には下元秀俊氏が、副議長には森田呂弥氏が選出された。

専決承認

令和6年度高知県高岡郡梶原町  
一般会計補正予算(第9号)

地方譲与税、地方交付税等の交付金の歳入の確定に伴い、基金繰入金及び基金積立金を補正するもの。

承認 全員賛成

梶原町税条例の一部を改正する条例

地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律、地方税法施行令及び国有資産等所在市町村交付金法施行令の一部を改正する政令、地方税法施行規則の一部を改正する省令の公布に伴い所要の改正を行うもの。

承認 全員賛成

梶原町国民健康保険条例の一部を改正する条例

梶原町国民健康保険運営協議会に諮問し、その答申を踏まえた税率の改正内容を含め、地方税法施行令の一部を改正する政令、国民健康保険法施行令の一部を改正する政令の公布に伴う所要の改正を行うもの。

承認 全員賛成

その他

工事請負契約について(令和6年度(繰)梶原町生涯学習交流センター増築工事)

工事請負契約の締結を行いたく、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

可決 全員賛成

工事請負契約について(令和7年度梶原町総合庁舎空調更新工事)

工事請負契約の締結を行いたく、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

可決 全員賛成

議案一覧と議員賛否状況

私は ○ × です



5月臨時会(第379回)

(賛成○、反対×、議長は裁決に加わらない)

議案番号	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8
			藤原伸	來米豊史	森田呂弥	西川豊正	下元秀俊	土釜清	市川岩亀	西川慶男
第31号	専決処分の承認を求めることについて 令和6年度高知県高岡郡梶原町一般会計補正予算(第9号)	承認	○	○	○	○	○	-	○	○
第32号	専決処分の承認を求めることについて 梶原町税条例の一部を改正する条例	承認	○	○	○	○	○	-	○	○
第33号	専決処分の承認を求めることについて 梶原町国民健康保険条例の一部を改正する条例	承認	○	○	○	○	○	-	○	○
第34号	工事請負契約について 令和6年度(繰)梶原町生涯学習交流センター増築工事	可決	○	○	○	○	○	-	○	○
第35号	工事請負契約について 令和7年度 梶原町総合庁舎空調更新工事	可決	○	○	○	○	○	-	○	○

●6月定例会(388回)

議会6月定例会は、6月9日、10日の2日間の会期で開催した。

会の冒頭に、下元議長より、西川慶男議員の高知新聞の報道について、議会を代表して謝罪を行った。

一般質問では、森田呂弥議員が「吉田町政2期8年を振り返って」、來米豊史議員が「梶原中学校の山村留学制度の導入について(一部修正)」、それぞれ町の考えを問いただした。

議案審議では、令和7年度一般会計補正予算をはじめ、教育長の任命に付き同意を求めることなどについて審議され、すべての議案について原案どおり全会一致で可決・同意した。

また、専決処分の報告(工事請負契約変更)、土地開発公社の経営状況の説明書、一般社団法人ゆすはら雲の上観光協会の経営状況の説明書、令和6年度から令和7年度に繰り越した一般会計他予算の繰越明許費繰越計算書などの報告があった。

行政報告



行政報告を行う吉田町長

町長は、令和7年3月定例会以降における諸般の行政について、次の項目の報告をした。(抜粋)

総務課関係

- 越知面区長 上田末喜氏退任への感謝状贈呈について
- 各区行政懇談会の開催について
- 梶原消防団入団式について
- 開発振興計画審議会について
- 職員賞罰委員会について
- 地方創生事業について

まちづくり  
産業推進課関係

- 空き家活用促進事業・移住者について
- ネパール人研修生について
- ふるさと納税事業について

森林づくり  
脱炭素推進課関係

- 再生可能エネルギーについて
- 地域おこし協力隊について
- 「令和の森林づくり」について

保健福祉課関係

- 第27回高知県障害者スポーツ大会について
- 精神障害者家族会会長 長山久美子氏への感謝状贈呈について

教育委員会関係

- 梶原高等学校アーチェリー部 高知県高等学校体育大会女子団体優勝」について

目次

P2	5月臨時会議案審議
P3	行政報告
P4、P6	6月定例会議案審議
P7	下元議長 議会を代表し皆様に謝罪
P8	一般質問
P8	梶原中学校に山村留学制度の導入を
P9	この町の未来をどうつないでいくのか
P10	寄付のお礼
P10	あとがき・閉会中の所管事務調査事項



第27回高知県障害者スポーツ大会出場選手(開会式)

表紙写真の紹介

「太郎川公園の  
あじさいと水車小屋」

日本の原風景が残る太郎川公園。清らかな水の流れに寄り添うように佇む水車小屋。その周辺を彩るのは風に優しく揺れるあじさいたち。木漏れ日が優しく差し込む初夏の屋下が。心安らく静かで美しい時間が流れています。



# 住民税非課税世帯等臨時特別給付金他5千749万2千円を追加し 総額59億2千49万2千円(R7一般会計補正予算)

6月  
定例会

## 議案審議の概要

提案され審議した主な議案についての概要

(※質疑は抜粋)

### 補正予算

一般会計補正予算(第1号)

〈主な内容〉

- 要望件数の追加に伴う若者定住住宅整備補助金 200万円
- 令和7年1月に火災によって罹災した坪野田移住定住促進空き家活用住宅の所有者への損害賠償金 666万9千円
- 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金による不足額給付金として住民税非課税世帯等臨時特別給付金 322万円
- 不足額給付にかかるシステム改修委託料 187万円
- 松原ふれあいセンターの空調設備取替に伴う修繕料 198万円
- 障害福祉サービスにかかる報酬請求システム改修委託料 109万3千円
- ふるさとものづくり支援事業採択に伴う観光推進事業補助金 650万円
- 小学校棟メディアルームの空調機故障に伴う修繕料 114万4千円



空調設備を整備する松原ふれあいセンター

● 前年度繰越金の確定による財政調整基金積立金3千200万5千円の増額他、歳入歳出それぞれに5千749万2千円を追加し、その総額を59億2千49万2千円とするもの。

可決 全員賛成

後期高齢者医療  
特別会計補正予算(第1号)

後期高齢者に係る資格確認書の暫定運用継続に伴う通信運搬費及び前年度繰越金確定による後期高齢者医療広域連合納付金を増額しようとするもので、歳入歳出それぞれに60万円を追加し、その総額を7千470万円とするもの。

可決 全員賛成

### その他

梶原町公園設置及び管理に関する  
条例の一部改正について

太郎川公園内に7月下旬完成、8月上旬オープンを予定しているアクティビティ施設の施設名、使用料を定めるもの。

可決 全員賛成

太郎川公園内に  
8月上旬の  
オープンを目指す  
アクティビティ施設  
「ファンモック」の  
イメージ写真



梶原町子ども・子育て会議設置条例の一部改正について

子ども・子育て支援法が一部改正されたことに伴い、条項ずれが生じたため引用箇所の改正をするもの。

可決

全員賛成

子ども・子育て支援法第87条の過料に関する条例の一部改正について

子ども・子育て支援法が一部改正されたことに伴い、条項ずれが生じたため引用箇所の改正をするもの。

可決

全員賛成

梶原町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について

入院時食事療養費の助成対象年齢を引き上げる改正をするもの。

可決

全員賛成

工事請負契約について  
(令和7年度 防災・安全社会資本整備  
交付金事業 第1・A76・026号  
町道松谷線 (B工区) 法面改良工事)

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

可決

全員賛成

工事請負契約について

(令和7年度 防災・安全社会資本整備  
交付金事業 第1・A76・029号  
町道日野地線 法面改良工事)

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

可決

全員賛成

和解及び損害賠償の額の決定について

令和7年1月23日に発生した火災により梶原町移住定住促進空き家活用住宅が全焼した件に伴う和解及び損害賠償の額の決定について、地方自治法第96条第1項第13号の規定により、議会の議決を求めるもの。

可決

全員賛成

教育長の任命に付き  
同意を求めることについて

現在の教育長の任期が令和7年7月31日をもって満了することから、新たな教育長を任命することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を求めるもの。

同意

全員賛成

## 報告事項

専決処分の報告(工事請負契約変更)  
令和6年度町単 梶原町脱炭素先行地域  
事業 梶原町木質ペレット製造施設敷地  
造成工事

梶原町土地開発公社の  
経営状況の説明書

一般社団法人ゆすはら雲の上観光協会の  
経営状況の説明書

繰越明許費繰越計算書



教育長に再任された  
**矢野 準也** 氏

住所：梶原町上折渡

期間：令和7年8月1日

～令和10年7月31日

## 議案一覧と議員賛否状況

私は ○ × です



## 6月 定例会(第380回)

(賛成○、反対×、議長は裁決に加わらない)

議案番号	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8
			藤原伸	來米豊史	森田呂弥	西川豊正	下元秀俊	土釜清	市川岩亀	西川慶男
第36号	令和7年度梶原町一般会計補正予算(第1号) 総額を59億2千49万2千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	○	○
第37号	令和7年度梶原町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 総額を7千470万円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	—	○	○	○
第38号	梶原町公園設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○
第39号	梶原町子ども・子育て会議設置条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○
第40号	子ども・子育て支援法第87条の過料に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○
第41号	梶原町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○
第42号	工事請負契約について (令和7年度 防災・安全社会資本整備交付金事業 第1-A76-026号 町道松谷線(B工区)法面改良工事)	可決	○	○	○	○	—	○	○	○
第43号	工事請負契約について (令和7年度 防災・安全社会資本整備交付金事業 第1-A76-029号 町道日野地線 法面改良工事)	可決	○	○	○	○	—	○	○	○
第44号	和解及び損害賠償の額の決定について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○
第45号	教育長の任命に付き同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	—	○	○	○

# 下元議長 議会を代表し住民の皆様へ謝罪

今定例会の冒頭に、5月1日付の高知新聞に掲載された西川慶男議員の報道について、下元議長が謝罪を行ったので、その全文を掲載します。

## 〈謝罪の言葉〉

梶原町議会を代表して、私からご報告とお詫びを申し上げます。

5月臨時議会の開会前に、西川慶男議員からお詫びの発言がありました。具体的には、3月下旬に町内で執り行われた知人の葬儀で、生花1基を寄贈し、会社名と役職、氏名を表示していたことが公職選挙法第199条の2の公職の候補者等の寄付の禁止に抵触する可能性があるとの指摘を受けたことについて、5月1日の高知新聞で報道されました。町民の皆様には本議会に対する不信感、ご心配をおかけする事態となっており、議会の代表者として、誠に申し訳なく、お詫び申し上げます。

梶原町議会は、町民の皆様の付託を受け、町政の発展と町民福祉の向上に貢献すべき神聖な場であり、議員一人ひとりが、高い倫理観と法令遵守の精神をもって職務に当たるべきことは言うまでもありません。今回の報道は、こうした議会の使命、そして議員に求められる責務を揺るがしかねないものであり、その重みを痛感しております。

当議会は、今回の事態を厳粛に受け止め、9月定例会までの期間、議会運営委員会に付託をし、議会議員のあり方を考え、二度とこのような事態を招かないよう、議員一同、改めて政治倫理の向上と法令遵守の徹底に努めてまいります。そして、町民の皆様からの信頼を回復し、引き続き、本町発展のために、議会としての役割を全うしていくことをお誓い申し上げ、私の謝罪の言葉といたします。

# 一般質問

## 「梶原中学校に山村留学制度の導入を」

来米 豊史 議員

町長

「まずは調査と情報収集から」



### ◆問題意識

- 少子化により梶原中学校の生徒数減少が見込まれる
- 教育の質の維持、学校の存続が町の未来を左右する
- 他地域からの生徒受け入れ(山村留学制度)による対応を提案

**Q** 山村留学制度の導入を検討すべきではないか？

少子化で児童生徒数が減少しており、教育の質・学校の存続が危機にある。梶原町の特色(個別対応教育、自然体験、既存寮活用)を生かし、町外から中学生を受け入れる山村留学制度を導入すべきではないか。

**A** 教育長

制度の趣旨や県内外の導入例(いの町・香美市・大川村など)を踏まえると、制度としての有効性は認識している。少人数教育のメリットと同時に、指導員・寮母の確保、生活指導、多様な生徒対応など課題も多い。まずは調査と情報収集から始めたい。

**Q** 受入れ体制や地域の理解、寮運営の実態は？

週末は里親に帰る形式や寮の既存施設の活用で、リスクを抑えて段階的導入ができる。ネグレクト等の懸念についても、募集条件を厳格に設けることで対応可能ではないか？

**A** 教育長・町長

- 受け入れには地域の理解、寮体制の整備、休日支援の仕組みが不可欠。
- 寮母など人材確保が難航している自治体も多い。
- 制度の誤用(保護者の責務放棄など)につながるよう検討が必要。
- 町単独負担での運用が現状多く、財政面の調整も必要。

**Q** 期待される効果についてどう認識しているか？

山村留学制度は学校の存続・活性化だけでなく、以下のような多くの効果が期待できるのではないかと？

- 梶原高校への進学者確保(中高一貫的連携)
- 関係人口・定住人口の増加
- 地域の教育魅力の向上

**A** 町長

まさにそのとおりであり、中学校の生徒数を増やすことは梶原高校の存続にもつながる。

町内の子どもたちにとっても、適正規模による切磋琢磨のある教育環境になる。

都会での学校生活に不安がある子どもたちにとって、梶原は安心できる環境になる。

導入には地域の理解と協力と、受け入れ側の意識醸成が不可欠。

**Q** スケジュール感について

本年度(2025年)中にプロジェクトチームを立ち上げ、地域との対話を重ね、令和9年度(2027年4月)から第1期生の受け入れを目指す事は可能だと思いませんか？

**A** 教育長

すぐに導入時期を明言できる状況ではない。人数の適正規模の議論や、受け入れ側の意識の整理が先決。

送り出す側の子どもが多様であること(ゲーム依存・昼夜逆転など)にも対応が必要。

制度の「目的」の共有が大前提。その上で関係者とともに調査検討を進めたい。

**Q** 今後の方向性は？

学校の存続、定住促進、地域の教育力向上を柱とした制度設計が必要。私は一町民としても協力を惜しまず、早期実現を期待している。

**A** 町長・教育長

過疎・人口減少が加速する中で、先手を打つ準備は必要であるとの認識は共有している。

調査・検討は速やかに進める。

将来的に必要な政策と捉え、まずは可能性を探る調査から着手していく。



昭和46年の発足当時62人の入寮生も今は20人に

# 一般質問

森田 呂弥 議員

## 「この町の未来を どうつないで いくのか」

町長

「進行中の事業は  
体制づくりを整えつなぎたい」



**Q** 2期8年間の町政を振り返り今どのようなお気持ちですか。

**A**

町長

振り返ってみますと、芝居小屋の保存運動や韓国の学生の受け入れなど、多くの方々の協力をいただきながら取り組んできたことが、いくつもの形になりました。私にとって大きな喜びとなっています。

新型コロナウイルスの影響で思うように進まなかった事業もありましたが、「子々孫々に」の基本理念のもと、地域の課題解決に努めてまいりました。

安心して安全に暮らせるためには、まず福祉や医療の充実を基本としつつ、それに加えて安定した雇用の確保、すなわち安定した収入が暮らしの基盤となります。そして、信頼できる教育環境の充実もまた欠かせない要素だと考えています。

そうした考えから、私はこれまで、産業と教育の振興に重点を置いて取り組んできました。その中でも、特に印象深い出来事がいくつかあります。一つは、JA高知県の統合に続いて、JA榑原支所の統合案が浮上した際には、津野町長を始め多くの方の協力を得て当時の計画を白紙にさせていただきました。町としての思いを形にできたことが

何より嬉しい出来事の一つです。

また、これまで本町を支えてくださった矢崎総業の皆さんとともに進めてきた森林づくりに加え、森林の文化創造推進課を新たに立ち上げ、令和の森づくり協議会「ReMORI」や「CoMORI」更には地域おこし協力隊員による「KIRecub」が生まれました。

さらに、平成11年から続けてきた四国カルストの風車事業も二十数年を経て建て替えることができたことに加え、新たに脱炭素先行地域として国からの採択も受けることができました。

公共交通の再編としては、高知高陵交通によるバスのダイヤの見直しや、コミュニティバスの運行、運転手の確保など、様々な課題の解決に向けて取り組んできました。デマンド方式（予約制運行）への移行を進め、高齢者の皆さんにも安心して移動していただける仕組みが少しずつ形になってきているのではないかと感じています。

へき地医療協議会における医師確保の課題に対し、高知大学医学部の医師もへき地医療協議会に参加できる仕組みへの見直しを進め、この仕組みが一定形になってきたことは、私にとっても非常に大きな喜びです。

そのような中、結果として新聞報道にもなりましたが、今期

限りでの引退を決意いたしました。町長として職務に励む中で、私自身の力不足を痛感したため、できるだけ早期に進退を表明することで、次に出馬を考えている方の準備が整うようにとの思いからの判断です。町民の皆様にはご心配、ご迷惑をおかけしましたが、これまでのご理解とご支援に心より感謝申し上げます。

**Q** 道の駅のような長期事業については「次の町長に託すべき」との声もあります。残る任期をどう過ごし、この事業にどう向き合われるのか、お考えをお聞かせください。

**A**

町長

令和7年度に実施設計予算を認めていただきましたが、一度見直しを行い、町民の皆様の声を伺いながら基本構想・基本計画を策定し、それに基づき現在実施設計を進めています。

隈研吾氏の建築は榑原にとつて唯一無二であり、二期目から五期目まで見られるようになるのは世界でも榑原だけです。これは大きな強みだと考えています。

運営については課題もありましたが、大洲市のバリューマネジメントと連携し、榑原の価値を発信する体制づくりを進めてい

ます。運営はコンソーシアムで行い、早期に仕組みを整えます。

**Q** 観光協会が代表となり、町長が兼任することで、権限集中や利益相反など課題も残ります。半年の任期で拙速に進めることへの考えをお聞かせください。

**A**

町長

ガバナンスやトップ兼務の問題についてもご指摘をいただいております。今後しっかり考えていくべき課題だと考えています。

**Q** このような大きな事業を進めるのであれば、もう一度、町民の皆様にご意見を伺うべきではないでしょうか。

**A**

町長

今は考えていません。

森田

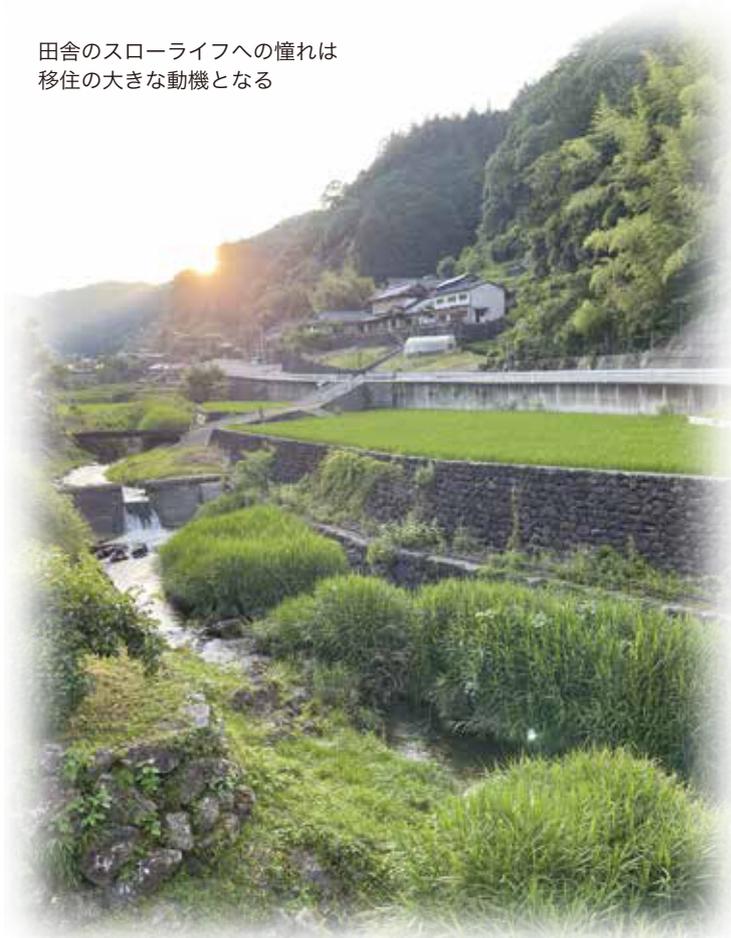
改めて吉田町長を応援させていただいた一人として、町政8年間のご尽力に、敬意と感謝を申し上げます。今回のご答弁が、町民の皆様にとってこれまでの町政を振り返る機会となり、今後の町づくりを考える一助となることを願っています。

## あしがき

今期で現町長が退任し、12月には新たな町長が町政を運営していく事になります。新たな政策を立案し、その実現に向けた施策を講じる訳ですが、全てを初期化しゼロからスタートする事ではなく、歴代町長が築き上げてきた歴史と、かつて町や集落が子や孫、知人友人で賑わっていた時代を取戻したいと願う高齢者の想いを、次代へと継承していくことが重要となります。

現在、町内では深刻な人手不足が課題となっており、町の活性化を担うべき生産年齢層の伸び悩みが懸念されています。新たな町長への引継ぎ同様に農林水産業、商工業、住宅、土地、そして釣りといった豊かな自然を生かした活動も、若い世代へと円滑に継承していくことが極めて重要です。町政と同様にあらゆる分野で継承が進めば、豊かな自然の中で子育てをし、自立した生活を送りたいと願うUターン・イターン移住者の受け入れも促進されます。現代において都会から田舎への移住は、「マイペースな生活を送りたい」というスローライフへの憧れが大きな動機となっています。私たちは、単に古き良き習慣や、昔ながらの気質で人々との関

田舎のスローライフへの憧れは移住の大きな動機となる



りを縛りつけ足止めさせるのではなく、時代の変化に即した改革を進めるべきです。若い世代の挑戦する意欲に寄り添い、過疎地域であっても今以上に暮らしの質を共に向上させていくための関わりや、次世代への継承に大いに期待しています。梶原町に、時代の変化に即した新たな文明開化を起こし、豊かな自然を活かした田舎ならではの屋外活動を充実させていきたいと考えています。そして各世代の多様な趣味嗜好を尊重し、誰もが自分らしく輝ける町を、共に未来へ実現していきます。

藤原 伸 記

### 閉会中の所管事務調査事項

各委員会は、9月定例会までの閉会中に、次の事項を調査します。

- 議会運営委員会 → 9月定例会の運営について  
→ 議会議員のあり方について
- まちづくり常任委員会 → まちづくりについて  
→ 意見書採択について
- 議会広報編集委員会 → 議会広報の発行について

## 寄付のお礼

この度、次の方から「議会だより 四万十源流」に対し寄付をいただきました。紙面をもってお礼とご報告を申し上げます。

大阪府鶴見区

河野 州彦 様